

2021年 通常総会 議案資料

日 時 : 2021年3月26日(金) 16:00~17:00

場 所 : オンライン(国際文献社会議室)

16:00~17:00 通常総会

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議事

第1号議案	議事録署名人の選出	2
第2号議案	2020年度 事業報告	2
第3号議案	2020年度 収支決算報告	7
第4号議案	2021年度 事業計画	13
第5号議案	2021年度 収支予算	17
第6号議案	2021年度 理事および監事の選出	18
第7号議案	定款の変更	21

4. 閉会

17:00~17:20 フェロー贈呈式/学術奨励賞授与式



特定非営利活動法人
日本バーチャルリアリティ学会

第1号議案 議事録署名人の選出

理事から2名を議事録署名人に選任します。

第2号議案 2020年度 事業報告

2020年度は、例年の主要行事である第25回目となる大会を立命館大学で開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインで開催いたしました。

1. 会員に関する事項

2020年度は、1996年に学会が発足して以来25年目に入り、引き続き、各種行事、学会ホームページなどにおいて、入会者の勧誘を行いました。賛助会員の新規加入は4社を得ました。また、2020年通常総会議決により、正会員57名・賛助会員1名を会員資格喪失(定款第9条 会費未納)とさせて頂きました。

	正会員	学生会員	賛助会員
1996年度末数	381	100	31
1997年度末数	497	149	38
1998年度末数	578	172	38
1999年度末数	628	205	38
2000年度末数	692	228	37
2001年度末数	686	230	34
2002年度末数	761	257	33
2003年度末数	788	265	30
2004年度末数	844	273	26
2005年度末数	828	269	21
2006年度末数	869	191	23
2007年度末数	835	268	23
2008年度末数	832	281	23
2009年度末数	842	263	22
2010年度末数	855	307	18
2011年度末数	848	361	20
2012年度末数	853	341	20
2013年度末数	857	312	20
2014年度末数	867	307	18
2015年度末数	900	303	19
2016年度末数	960	335	34
2017年度末数	1033	383	40
2018年度末数	1078	379	40
2019年度末数	1047	453	41
2020年度末数	1113	378	37
2020年度目標	1060	460	42
2020年度目標との差	53	▲82	▲5

2. 広報・出版に関する事項

(1) 学会誌

2020年度は、第24巻として、3月、6月、9月、12月と年間4回の発行を行いました。

3分野の特集を企画し、No.4では、オンラインで行われた第25回大会報告を特集致しました。また、Vol.25-3より発刊と同時にJ-STAGEに記事(理事会だより等の学会記録部分を除く)を公開することになりました。過去記事については、承認がとれた記事からJ-STAGE公開予定です。

	特集内容
Vol.25, No.1	自動走行とVR
Vol.25, No.2	VRと立体音響
Vol.25, No.3	さきがけ 研究予算獲得の物語
Vol.25, No.4	第25回大会報告

(2) 論文誌

2020年度は、論文誌を3月、6月、9月、12月と年間4回発行しました。4分野の特集を企画し、特定域の成果を一覧できるように致しました。本年度の特集内容と掲載された論文数は以下の通りです。

	特集内容	特集 投稿(採録数)	一般 採録数
Vol.25, No.1	つなぐ技術(人・モノ・社会)2	12(9)	2
Vol.25, No.2	複合現実感8	9(5)	2
Vol.25, No.3	障害者・高齢者・マイノリティ支援と人間拡張	16(10)	4
Vol.25, No.4	力触覚デザイン	20(15)	4

種類	基礎論文	応用論文	コンテンツ 論文	総説論文	ショート ペーパー	計
論文数	29	11	6	3	2	51

(3) 文化・芸術

幾つかVR文化フォーラムを企画していたのですが、コロナ禍の昨今、開催ができませんでした。状況改善され次第、企画いたしますのでご参加よろしく願いいたします。

(4) ニュースレター

会員宛てに月1回(年12回)、電子メールによるニュースレターの送付を行いました。同様に、学会WEBサイトへの投稿、そしてtwitterへの投稿を行ないました。内容は、1. 報告集 2. 学会からのお知らせ主催・共催行事のご案内/協賛行事のご案内/論文誌に関するご案内/ニュースレター編集委員会からのお知らせ 3. 関連情報CALL FOR PAPER/CALL FOR PARTICIPATIONなどで構成され、バーチャルリアリティに関する国内外の情報を中心に情報提供を行いました。

(5) 電子広報

学会ホームページにて、年次大会、VR技術者認定制度、各種会議、論文誌特集等の情報を随時更新、また学会誌のバックナンバーを公開しております。(https://vrsj.org/)

3. 主催・共催事業に関する事項

2020年度に主催・共催した事業は以下となります。(■主催事業・□共催事業)

- 第25日本バーチャルリアリティ学会大会
 - 日時:2020年9月16日～18日
 - ・ オーラル・プレゼンテーション:150件

- ・ オープン・バーチャル・エキシビション:71件
- ・ 大会参加者数:510名
- ・ オープン・バーチャル・エキシビション参加者数:309名
- 「第28回 IVRC (Interverse Virtual Reality Challenge)」
従来のコンテストから、各チームのチャレンジをさまざまな観点で評価し顕彰する「VRチャレンジ」とすべく Interverse Virtual Reality Challenge に名称を変更し、オンラインで開催しました。
SEED Stage (昨年までの予選に対応) が9月12日に開催され、参加26チームから10チームが通過しました。
SEED Stage を通過した各作品を国内の3箇所で審査員が体験し、その様子をビデオ撮影。11月14日にサイエンスアゴラのイベントとして LEAP Stage (昨年までの決勝に対応) を開催し、この体験の様子をオンライン配信でお伝えするとともに、各チームがプレゼンテーションを行い、審査結果を発表しました。
- VR文化フォーラム
新型コロナウイルス感染症の状況により、今年度は開催できませんでした。
- ICAT-EGVE 2020
2020年12月2日～4日の日程でオンライン開催となりました。参加者等の概要は以下の通りです。
 - ・ 参加者数 186名
 - ・ Full/Short Paper 16件(投稿数:26件)
 - ・ Demo/Poster 16件(投稿数:21件)
- AsiaHaptics2020
開催は見送られ、2022年に延期となりました。
- 第29回「人工現実感研究会」
2020年6月1日～2日
オンライン開催となりました。
- 高臨場感ディスプレイフォーラム2020
開催は見送となりました。

4. 企画事業に関する事項

2020年度に企画した事業は以下となります。

(1) 研究委員会

新規研究委員会1件が加わり、計17の研究委員会が下表のように会員に公開する研究会(含、他学会との共催)、OS、講演会、シンポジウムをオンライン中心に開催しました。研究委員会助成金には6つの研究委員会より申請があり、各企画が実施されました。この助成金は研究委員会が本学会員に有意義な活動を特別に企画する場合において、その企画を助成することによりVRに関する研究の発展に寄与することを目的としています。

研究委員会名	研究会開催回数	備考
サイバースペースと仮想都市研究委員会	4	継続
複合現実感研究委員会	5	継続
アート&エンタテインメント研究委員会	0	継続
VR心理学研究委員会	2	継続
トレイマージョン技術研究委員会	5	継続
香り・味と生体情報研究委員会	1	継続

拡張認知インタフェース調査研究委員会	2	継続
ハプティクス研究委員会	5	継続
情報技術と文化の融合調査研究委員会	2	継続
3次元ユーザインタフェース研究委員会	1	継続
デジタルミュージアム研究委員会	1	継続
VRと超臨場感研究委員会	1	継続
トレイグジスタンス研究委員会	2	継続
超高齢社会のVR活用研究委員会	1	継続
超人スポーツ研究委員会	1	継続
神経刺激インターフェース研究委員会	2	継続
サービスVR研究委員会	1	継続

- (2) VR技術者認定講習会・認定試験
 コロナ禍のため、講習会／認定試験を中止としました。

5. 会議に関する事項

- (1) 総会
 2020年通常総会を3月19日に東京大学本郷キャンパス工学部2号館とオンラインのハイブリッドで行いました。
- (2) 理事会
 合計6回の理事会を開催いたしました。開催日程は次の通りです。
 尚、理事会のない月に会長・副会長及び総務・経理担当者による総務会議を開催致しました。

回	開催日	会場	主な議事
171	1月20日	国際文献社パブリッシングセンター8階会議室	通常総会準備, フェロー選考報告, 各担当理事報告
172	3月5日	オンライン	通常総会資料確認, 開催方法確認, 2019決算・2020予算の提出, 各担当理事報告
173	5月25日	オンライン	第25回大会開催について, 論文賞選考, 各担当理事報告
174	7月28日	オンライン	論文賞選考, 各担当理事報告
175	9月16日	オンライン	第25回大会報告, 各担当理事報告
176	11月9日	オンライン	通常総会・役員選挙スケジュール確認, 第25回大会結果報告, 学術奨励賞結果報告, 各担当理事報告

- (3) 評議員会

回	開催日	会場	主な議事
1	3月19日	東京大学 本郷キャンパス 工学部2号館1階212講義室・ハイブリッド	年間報告・計画について
2	9月17日	オンライン	年間報告・計画について

6. 表彰に関する事項

- (1) フェロー
 日本バーチャリアリティ学会フェローは、バーチャリアリティの学術文化および本会の発展に顕著な貢献を成し、

将来にわたって本会の活動を積極的に推進しうる者を顕彰するために、2010年度から称号授与が始まりました。本制度は、会員による推薦に基づいており、2020年度の推薦書より、日本バーチャルリアリティ学会の活動に多大な貢献をなした以下の3名に贈呈することを決定致しました。

稲見 昌彦(東京大学), 苗村 健(東京大学), 吉澤 誠(東北大学)

(2) 論文賞

論文誌Vol.24No.1 からVol.24No.4に掲載された論文の中から優秀な論文を選考し、5件の論文に論文賞を贈呈致しました。

- 直線運動と回転運動が共存する場合のベクシオン効果 (Vol.24, No1 pp.31-41, 2019)
古賀 宥摩, 石津 航大, 松室 美紀, 橋口 哲志, 柴田 史久, 田村 秀行, 木村 朝子
- Redirected Jumping:VRにおける跳躍動作時の移動量操作手法 (Vol.24, No.4 pp.341-350, 2019)
藤田 和之, 高嶋 和毅, Robert W. Lindeman, 北村 喜文
- HMD提示によるベクシオン刺激と嗅覚刺激の知覚的相互作用に関する検討
(Vol.24, No.4 pp.361-370, 2019) 有賀 安央衣, 坂内 祐一, 妹尾 武治
- 身体感覚と視覚情報にずれが生じる没入環境における低遅延な映像のユーザーへの影響
(Vol.24, No.1 pp.23-30, 2019)
門脇 拓也, 丸山 三智佳, 早川 智彦, 松澤 直熙, 岩崎 健一郎, 石川 正俊
- VR体験中の人の覚醒度推定のための生体情報計測Head Mounted Displayの開発
(Vol.24, No.4 pp.377-388, 2019) 稲澤 将太, 伴 祐樹

(3) 学術奨励賞

第25日本バーチャルリアリティ学会大会で優秀な発表を行った若手講演者5名に対して、学術奨励賞を贈呈することを決定致しました。

1 口頭発表部門

- テープと輪ゴムを使用したハンガー反射現象再現の検討
宮上 昌大(電気通信大学)
- 片手持持操作可能な浮遊型バルーンインターフェース
古本 拓朗(東京大学)
- リアルタイムとスローモーションを共存させるインタフェース
村本 剛毅(東京大学)
- ヘッドアップディスプレイ(HUD)の映像投影方法がヒトの視覚情報処理に与える影響の評価
山田 和佳(東京大学)
- バーチャルアバタの視点取得促進効果における頭部と胴体の比較
長町 和弥(豊橋技術科学大学)

1. 貸借対照表

貸借対照表

2020年12月31日現在

特定非営利活動法人 日本バーチャルリアリティ学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	61,646,346	57,687,489	3,958,857
未収金	4,779,688	11,265,789	△ 6,486,101
前払費用	2,216	2,216	0
未収消費税等	630,800	0	630,800
流動資産合計	67,059,050	68,955,494	△ 1,896,444
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
事務局準備金	20,000,000	20,000,000	0
国際会議準備金	13,800,000	13,800,000	0
国内会議準備金	9,000,000	9,000,000	0
資料編纂・出版準備金	1,800,000	1,800,000	0
特定資産合計	44,600,000	44,600,000	0
(2) その他固定資産			
差入保証金	0	1,268,000	△ 1,268,000
その他固定資産合計	0	1,268,000	△ 1,268,000
固定資産合計	44,600,000	45,868,000	△ 1,268,000
資産合計	111,659,050	114,823,494	△ 3,164,444
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,195,005	7,966,257	△ 4,771,252
前受金	220,000	267,000	△ 47,000
預り金	10,118	15,681	△ 5,563
未払法人税等	556,500	1,297,100	△ 740,600
未払消費税等	0	1,978,700	△ 1,978,700
流動負債合計	3,981,623	11,524,738	△ 7,543,115
負債合計	3,981,623	11,524,738	△ 7,543,115
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	107,677,427	103,298,756	4,378,671
正味財産合計	107,677,427	103,298,756	4,378,671
負債及び正味財産合計	111,659,050	114,823,494	△ 3,164,444

2. 正味財産増減計算書

正味財産増減計算書

2020年 1月 1日から2020年12月31日まで

特定非営利活動法人 日本バーチャルリアリティ学会		(単位:円)		
科 目	当年度	前年度	増 減	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産利息	0	4,460	△ 4,460	
受取入会金	636,000	804,000	△ 168,000	
受取会費	16,524,000	16,945,000	△ 421,000	
正会員会費	10,665,000	10,120,000	545,000	
学生会員会費	1,284,000	1,820,000	△ 536,000	
賛助会員会費	3,700,000	4,100,000	△ 400,000	
一般会員会費	370,000	320,000	50,000	
購読会員会費	505,000	585,000	△ 80,000	
事業収入	15,786,334	90,740,812	△ 74,954,478	
過去会誌頒布収入	0	56,150	△ 56,150	
年次大会	6,210,000	72,802,657	△ 66,592,657	
IVRC	2,200,014	0	2,200,014	
通常総会収入	0	78,000	△ 78,000	
研究委員会活動収入	498,000	0	498,000	
講習会収入	0	5,249,000	△ 5,249,000	
投稿料収入	0	4,595,000	△ 4,595,000	
出版収入	6,870,320	0	6,870,320	
過去会誌頒布収入	3,120	0	3,120	
論文誌投稿料収入	5,231,000	0	5,231,000	
その他出版物収入	1,636,200	0	1,636,200	
管理費収入	0	7,960,005	△ 7,960,005	
その他収入	57,006	2,904,556	△ 2,847,550	
助成金	0	2,656,348	△ 2,656,348	
損金計上済み未収会費収入	30,000	0	30,000	
雑収入	22,515	0	22,515	
受取利息	4,491	8	4,483	
寄付金	0	248,200	△ 248,200	
経常収益計	33,003,340	111,398,828	△ 78,395,488	
(2) 経常費用				
事業費	15,769,125	78,604,502	△ 62,835,377	
通常総会費	282,915	300,790	△ 17,875	
補助金費	0	1,500,000	△ 1,500,000	
印刷製本費	0	5,299,076	△ 5,299,076	
通信運搬費	0	810,248	△ 810,248	
年次大会費	3,950,374	65,960,245	△ 62,009,871	
IVRC	3,115,501	0	3,115,501	
研究委員会活動費	1,216,818	0	1,216,818	
講習会費	0	2,898,140	△ 2,898,140	
研究部会費	0	1,120,000	△ 1,120,000	
出版事業費	6,462,822	0	6,462,822	
学会誌	3,792,685	0	3,792,685	
論文誌	1,612,148	0	1,612,148	
その他刊行費	1,057,989	0	1,057,989	
振与費	740,695	716,003	24,692	
管理費	10,999,044	19,698,808	△ 8,699,764	
印刷費	6,235	80,237	△ 74,002	
消耗品費	51,810	5,496	46,314	
諸会費	50,000	82,200	△ 32,200	
通信運搬費	273,758	277,242	△ 3,484	
情報システム管理費	1,047,802	1,946,554	△ 898,752	
電子広報費	165,000	165,000	0	
会議費	193,900	338,161	△ 144,261	
雑給費	0	1,999,560	△ 1,999,560	
光熱水料	24,912	75,600	△ 50,688	
賃借料	2,075,670	1,862,036	213,634	
顧問料	0	64,800	△ 64,800	
支払手数料費	265,303	314,451	△ 49,148	
租税公課	369,330	6,424,179	△ 6,054,849	
事務局運営費	6,475,324	6,063,292	412,032	
その他	1,300,000	880,500	419,500	
雑費	1,300,000	880,500	419,500	
経常費用計	28,068,189	99,183,810	△ 71,115,641	
評価損益等調整前当期経常増減額	4,935,171	12,215,018	△ 7,279,847	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	4,935,171	12,215,018	△ 7,279,847	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
法人税、住民税及び事業税	556,500	3,173,500	△ 2,617,000	
経常外費用計	556,500	3,173,500	△ 2,617,000	
当期経常外増減額	△ 556,500	△ 3,173,500	2,617,000	
税引前当期一般正味財産増減額	4,378,671	9,041,518	△ 4,662,847	
当期一般正味財産増減額	4,378,671	9,041,518	△ 4,662,847	
一般正味財産期首残高	103,298,756	94,257,238	9,041,518	
一般正味財産期末残高	107,677,427	103,298,756	4,378,671	
II 正味財産期末残高	107,677,427	103,298,756	4,378,671	

3. 予算対比正味財産増減計算書

予算対比正味財産増減計算書

2020年 1月 1日から2020年12月31日まで

特定非営利活動法人 日本バーチャルリアリティ学会

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	800,000	636,000	164,000
受取会費	16,907,000	16,524,000	383,000
正会員会費	10,370,000	10,665,000	△ 295,000
学生会員会費	1,812,000	1,284,000	528,000
賛助会員会費	4,100,000	3,700,000	400,000
一般会員会費	40,000	370,000	△ 330,000
購読会員会費	585,000	505,000	80,000
事業収入	27,068,000	15,786,334	11,281,666
年次大会	13,140,000	6,218,000	6,922,000
IVRC	4,220,000	2,200,014	2,019,986
研究委員会活動収入	670,000	498,000	172,000
通常総会収入	90,000	0	90,000
講習会収入	3,398,000	0	3,398,000
出版収入	5,550,000	6,870,320	△ 1,320,320
過去会誌頒布収入	50,000	3,120	46,880
論文誌投稿料収入	3,500,000	5,231,000	△ 1,731,000
その他出版物収入	2,000,000	1,636,200	363,800
その他収入	305,000	57,006	247,994
損金計上済み未収会費収入	0	30,000	△ 30,000
雑収入	300,000	22,515	277,485
受取利息	5,000	4,491	509
経常収益計	45,080,000	33,003,340	12,076,660
(2) 経常費用			
事業費	32,539,535	15,769,125	16,770,410
通常総会費	470,000	282,915	187,085
年次大会費	12,000,000	3,950,374	8,049,626
IVRC	8,720,000	3,115,501	3,604,499
研究委員会活動費	3,790,029	1,216,818	2,573,211
支払負担金	12,000	0	12,000
講習会費	2,270,506	0	2,270,506
出版事業費	6,577,000	6,462,822	114,178
学会誌	4,248,500	3,792,685	455,815
論文誌	1,390,500	1,612,148	△ 221,648
その他刊行費	938,000	1,057,989	△ 119,989
授与費	700,000	740,695	△ 40,695
管理費	10,287,000	10,999,044	△ 712,044
印刷費	100,000	6,235	93,765
消耗品費	100,000	51,810	48,190
諸会費	90,000	50,000	40,000
通信運搬費	250,000	273,758	△ 23,758
情報システム管理費	1,150,000	1,047,802	102,198
電子広報費	170,000	165,000	5,000
会議費	350,000	193,900	156,100
光熱水料	27,000	24,912	2,088
賃借料	950,000	2,075,670	△ 1,125,670
支払手数料費	400,000	265,303	134,697
租税公課	700,000	368,330	330,670
事務局運営費	6,000,000	6,475,324	△ 475,324
その他	880,500	1,300,000	△ 419,500
雑費	880,500	1,300,000	△ 419,500
経常費用計	43,707,035	28,068,169	15,638,866
評価損益等調整前当期経常増減額	1,372,965	4,935,171	△ 3,562,206
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,372,965	4,935,171	△ 3,562,206
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
法人税、住民税及び事業税	570,000	556,500	13,500
経常外費用計	570,000	556,500	13,500
当期経常外増減額	△ 570,000	△ 556,500	△ 13,500
税引前当期一般正味財産増減額	802,965	4,378,671	△ 3,575,706
当期一般正味財産増減額	802,965	4,378,671	△ 3,575,706
一般正味財産期首残高	103,298,756	103,298,756	0
一般正味財産期末残高	104,101,721	107,677,427	△ 3,575,706
II 正味財産期末残高	104,101,721	107,677,427	△ 3,575,706

4. 財産目録

財産目録

2020年12月31日現在

特定非営利活動法人 日本バーチャルリアリティ学会

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金	普通預金		37,721,136
	みずほ銀行本郷支店(2578257)	運転資金として(VRSJ)	33,077,634
	みずほ銀行本郷支店(2421498)	運転資金として(ICAT)	849,459
	ゆうちょ銀行〇一八店(5960736)	運転資金として(IVRC)	2,616,446
	三菱UFJ銀行本郷支店(4615998)	運転資金として	135,761
	きらばし銀行春日町支店(4044400)	運転資金として	101,143
	りそな銀行本郷支店(1749463)	運転資金として	53,668
	サハ'-スハ'-スと仮想都市研究委員会	運転資金として	509,185
	香り・味と生体情報研究委員会	運転資金として	377,840
	郵便振替口座		23,925,210
	東京振替貯金局(00120-8-161702)	運転資金として	23,925,210
未収金	未収会費	2019・2020年度未収会費	4,779,688
	論文集投稿料	論文集投稿料Vol123-3_1件、Vol124-3_1件、Vol125-4_19件	2,465,000
	研究発表会	第25回大会AWS費用返金分	2,290,000
	その他請求	著作権料	22,048
前払費用	さくらインターネット縛	ドメインサービス利用料(2021/1/23-2022/1/22)	2,640
未収消費税	四谷税務署	2020年度消費税還付	2,216
			630,800
流動資産合計			67,059,050
(固定資産)			
特定資産			
事務局準備金	定期預金三菱UFJ銀行本郷支店(4615998)		20,000,000
	定期預金きらばし銀行春日町支店(4019664)		10,000,000
国際会議準備金	定期預金みずほ銀行本郷支店(6689991)		10,000,000
国内会議準備金	定期預金りそな銀行本郷支店(4071426)		13,800,000
	定期預金みずほ銀行本郷支店(6689991)		9,000,000
	定期預金みずほ銀行本郷支店(6689991)		6,000,000
資料編纂・出版準備金	定期預金みずほ銀行本郷支店(6689991)	アート&エンタテインメント研究委員会	1,000,000
			2,000,000
			1,800,000
固定資産合計			44,600,000
資産合計			111,659,050
(流動負債)			
未払金			3,195,005
印刷製本費	著者、国際文献社、レタープレス	Vol125-4論文誌・学会誌関連費用	1,358,129
事務局運営費	国際文献社	10-12月事務局業務委託費	1,664,096
その他	IVRC2020、アドコムメディア	副賞、Web保守費用	172,780
前受金			220,000
入会金		2021年度分入会金	12,000
正会員会費		2021年度分正会員会費	30,000
学生会員会費		2021-2022年度分学生会員会費	33,000
賛助会員会費		2021年度分賛助会員会費	30,000
一般会員会費		2021年度分一般会員会費	100,000
購読会員会費		2021年度分購読会員会費	20,000
預り金			25,000
源泉税(報酬)	四谷税務署	IVRC_デザイン費用	10,118
源泉税(給与)	四谷税務署	IVRC_9-12月給与分	9,096
未払法人税等	四谷税務署、新宿都税事務所	2020年度法人税等	1,022
			556,500
流動負債合計			3,981,623
負債合計			3,981,623
正味財産			107,677,427

5. 財務諸表に関する注記

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方法による。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
事務局準備金	20,000,000	0	0	20,000,000
国際会議準備金	13,800,000	0	0	13,800,000
国内会議準備金	9,000,000	0	0	9,000,000
資料編纂・出版準備金	1,800,000	0	0	1,800,000
合 計	44,600,000	0	0	44,600,000

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	〈うち指定正味財産 からの充当額〉	〈うち一般正味財産 からの充当額〉	〈うち負債に対する額〉
特定資産				
事務局準備金	20,000,000	(0)	(20,000,000)	(0)
国際会議準備金	13,800,000	(0)	(13,800,000)	(0)
国内会議準備金	9,000,000	(0)	(9,000,000)	(0)
資料編纂・出版準備金	1,800,000	(0)	(1,800,000)	(0)
合 計	44,600,000	(0)	(44,600,000)	(0)

附属明細書

該当事項なし

6. 会計監査報告

特定非営利活動法人日本バーチャルリアリティ学会

会長 大須賀 美恵子 殿

特定非営利活動法人日本バーチャルリアリティ学会の2020年度決算報告書について監査を実施しました。その結果、帳簿類並びに領収書等は完備されており、支出ならびに収支決算について適切であると判断いたしました。

2021年 2月 24日

監事

石橋 聡



2021年 2月 24日

監事

榎並 和雅



第4号議案

2021年度 事業計画

2021年度は、学会発足以来26年目であり、これまでの実績に基づいて、より充実した学会運営体制を構築してまいります。おもな事業として、第26回大会を立命館大学大阪いばらきキャンパスで開催致します。これまで以上に会員サービスの一層の充実を図るとともに、学会の基盤をさらに固めるために、会員数の増加を推進致します。

1. 会員に関する事項

2021年度は、学会が発足後26年目であり、一層充実した組織体制を構築する必要があります。このため、会員増を目指した積極的な勧誘を継続的に実施いたします。学会WEBページでの入会受け付けなどにより、入会希望者の便を図るとともに、賛助会員についても関連団体・企業の新規加入を目指して努力いたします。2021年度の目標を次表に示します。

	正会員	学生会員	賛助会員
2020年度末数	1113	375	37
2021年度目標数	1123	450	41

2. 広報・出版に関する事項

(1) 学会誌

2021度は、第26巻として、3、6、9、12月の年4回の発行を予定しており、特集として以下の企画と、立命館大学で行われる第26回大会報告を予定しています。

	特集内容
Vol.26, No.1	特集休刊
Vol.26, No.2	同年代のアカデミックから産業界に移った研究者たちに聞きたい！！！！ (仮)
Vol.26, No.3	(未定)
Vol.26, No.4	(未定)

(2) 論文誌

2021度も、論文誌は年4回(3、6、9、12月)発行します。会員からの投稿論文(基礎論文、応用論文、コンテンツ論文、ショートペーパー)および、特定のトピックスに焦点をあてた専門家による総説論文を対象とします。また、毎号特集テーマを決め、ゲストエディタをお願いして、特集論文の投稿を積極的に勧誘します。

尚、今後の特集内容は以下を企画しております。

	特集内容
Vol.26, No.1	VR心理学8
Vol.26, No.2	Stay Virtual とスポーツ
Vol.26, No.3	時間・空間・心を超える教育・訓練・伝承支援
Vol.26, No.4	デジタルファブリケーションとVR

(3) 文化・芸術

■文化フォーラム・ASIAGRAPH

年に2回程度、国内／国外の研究機関・文化施設との連携による開催を検討しております。

2021年度は、2020年度に新型コロナ感染症のため実施できなかった下記について、状況を見ながら開催を検討いたします。

● ASIAGRAPH & VR文化フォーラム in 沖縄

OIST及び沖縄県立芸術大学を会場に、ASIAGRAPHと文化フォーラムを同時開催することを検討しておりま

す。

- VR文化フォーラム in Ars Electronica Festival

海外でのVR文化フォーラムとして9月にオーストリアリンツで開催されているArs Electronica Festivalを訪問するツアーを検討しております。

- VR文化フォーラム小規模版

- ・ パトレイバー学会研究会+VR文化フォーラム2021

webセミナー『機動警察パトレイバー塾(仮題)』

4月～5月にVR文化フォーラムとして上記webセミナーを実施予定です。詳細はメールにてお送りする予定です。

- ・ 「VR文化フォーラム202x in 瀬戸内」として、前回開催された文化フォーラム@瀬戸内国際芸術祭でツアーしきれず、見逃した島々を中心に巡って開催(直島のアート鑑賞, 地中美術館, 犬島などを訪問, 常設展を見学)についてもご要望をいただいております, 2020に限らず繁忙期をずらすことで余裕をもって視察する方向で検討継続しております。

(4) ニュースレター

バーチャルリアリティに関する有益な情報を整理してニュースレター形式に編集し, 月に1回, 電子メールにて会員に送付します。また, ホームページでも会員向けに最新のニュースレターを掲載します。

内容は, 2020度に続き「1. 報告集 2. 学会からのお知らせ 主催・共催行事のご案内/協賛行事のご案内/論文誌に関するご案内/ニュースレター編集委員会からのお知らせ 3. 関連情報 CALL FOR PAPER/CALL FOR PARTICIPATION」などで構成されます。

本学会員が国内外のバーチャルリアリティの動向や進行中のアクティビティを的確に把握できるよう努め, 多様なイベントにあわせて随時特集を掲載, 会員サービスの向上を目指して刊行いたします。

(5) 電子広報

取材や問い合わせに対応しています。

また, 学会ホームページにて, 年次大会, VR技術者認定制度, 各種会議, 論文誌特集等の情報を随時更新しております。(https://www.vrsj.org/)

(6) 出版

教科書「バーチャルリアリティ学」の更なる拡充として下記の別冊教科書企画が進行中です。

- ・ 拡張認知インタフェース
- ・ HMD
- ・ 神経刺激

3. 主催・共催事業に関する事項

2021年度は以下の事業を予定しております。(■主催事業・□共催事業)

- 第26回日本バーチャルリアリティ学会大会

- ・ 2021年9月12日(日)～14日(火) 立命館大学大阪いばらきキャンパス

- ICAT-EGVE 2021

- ・ 2021年9月8日～10日 in Bonn, Germany

- 第29回 IVRC (Interverse Virtual Reality Challenge)

- ・ SEED Stage 2021年9月初旬 審査はLEAPの形式(審査員等が展示場所を訪問する形式を計画)
- ・ 別途 第26回日本バーチャルリアリティ学会大会(立命館大学大阪いばらきキャンパス)内にてOS開催
- ・ LEAP Stage (決勝大会) 2021年11月

- AsiaHaptics

- ・ 2020年AsiaHapticsは2022年に延期となりました。

- 第31回「人工現実感研究会」

- ・ 共催/連載 ヒューマンインタフェース学会・デバイスメディア指向ユーザインタフェース研究会(SIGDeMO・

映像情報メディア学会・スポーツ情報処理時限研究会 (ITE-SIP) (予定)

- ・ 2021年6月1日(月)・2日(火)オンライン

□ 高臨場感ディスプレイフォーラム2021

- ・ 調整中

4. 企画事業に関する事項

2021年度は以下の企画を予定しております。

(1) 研究委員会

各研究委員会は、本年度以下のように17の研究会在が、シンポジウム、セミナー等の開催を予定しています。各研究委員会が独自に企画して行うこれらのイベントをより活性化し、VRに関する研究のさらなる発展に寄与したいと思っています。

研究委員会名	研究会開催回数	備考
サイバースペースと仮想都市研究委員会	4	継続
複合現実感研究委員会	5	継続
アート&エンタテインメント研究委員会	1	継続
VR心理学研究委員会	3	継続
テレイマージョン技術研究委員会	4	継続
香り・味と生体情報研究委員会	4	継続
拡張認知インタフェース調査研究委員会	2	継続
ハプティクス研究委員会	3	継続
情報技術と文化の融合調査研究委員会	2	継続
3次元ユーザインタフェース研究委員会	2	継続
デジタルミュージアム研究委員会	1	継続
VRと超臨場感研究委員会	3	継続
テレイグジスタンス研究委員会	3	継続
超高齢社会のVR活用研究委員会	1	継続
超人スポーツ研究委員会	3	継続
神経刺激インターフェース研究委員会	2	継続
サービスVR研究委員会	2	継続

(2) VR技術者認定講習会・認定試験

第18回VR技術者認定講習会・試験(セオリーコース)

講習会・試験共にオンラインで春に実施予定です。

第19回VR技術者認定講習会・試験(アプリケーションコース)

オンラインで秋に実施予定です。

5. 会議に関する事項

(1) 総会

2021年通常総会を3月26日にオンラインで行います。

(2) 理事会

合計6回(1月, 3月, 5月, 7月, 9月, 11月)の理事会を開催する予定です。

尚, 理事会のない月に会長・副会長及び総務・会計担当者による総務会議を開催する予定です.

(3) 評議員会

合計2回の評議員会を開催する予定です.

回	開催日	会場	主な議事
1	3月26日	オンライン	年間報告・計画について
2	9月13日	立命館大学大阪いばらきキャンパス	年間報告・計画について

6. 表彰に関する事項

(1) フェロー

会長を委員長とするフェロー選考委員会を組織し,2021年フェロー称号の授与者を決定する予定です.

(2) 論文賞

論文誌Vol.25, No.1 からVol.25, No.4に掲載された論文の中から優秀な論文を選考し, 5件程度の論文に論文賞を贈呈する予定です.

(3) 学術奨励賞

第26回日本バーチャルリアリティ学会大会で優秀な発表を行った若手講演者に対して, 学術奨励賞を贈呈する予定です.

収支予算案

2021年 1月 1日から2021年12月31日まで

特定非営利活動法人 日本バーチャルリアリティ学会

(単位:円)

科 目	2020年度予算額	2020年度決算額	2021年度予算案		
			各科目予算	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取入会金	800,000	636,000	700,000	0	700,000
受取会費	16,907,000	16,524,000	16,762,000	0	16,762,000
正会員会費	10,370,000	10,665,000	11,015,000	0	11,015,000
当年度(普通)	10,040,000	10,260,000	10,610,000	0	10,610,000
当年度(上級)	270,000	320,000	320,000	0	320,000
当年度(減免)	60,000	85,000	85,000	0	85,000
学生会員会費	1,812,000	1,284,000	1,512,000	0	1,512,000
当年度	1,812,000	1,284,000	1,512,000	0	1,512,000
賛助会員会費	4,100,000	3,700,000	3,700,000	0	3,700,000
当年度	4,100,000	3,700,000	3,700,000	0	3,700,000
一般会員会費	40,000	370,000	30,000	0	30,000
当年度	40,000	370,000	30,000	0	30,000
購読会員会費	585,000	505,000	505,000	0	505,000
当年度(書店)	110,000	80,000	80,000	0	80,000
当年度(図書館)	475,000	425,000	425,000	0	425,000
受取寄付金	0	0	0	0	0
受取助成金	0	0	0	0	0
事業収入	27,068,000	15,786,334	20,693,000	△ 1,350,000	19,343,000
年次大会	13,140,000	6,218,000	6,500,000	△ 200,000	6,300,000
IVRC	4,220,000	2,200,014	2,200,000	0	2,200,000
研究委員会活動収入	670,000	498,000	1,585,000	△ 1,150,000	435,000
通常総会収入	80,000	0	0	0	0
講習会収入	3,398,000	0	3,398,000	0	3,398,000
出版収入	5,550,000	6,870,320	7,010,000	0	7,010,000
過去会誌頒布収入	50,000	3,120	10,000	0	10,000
論文誌投稿料収入	3,500,000	5,231,000	5,000,000	0	5,000,000
その他出版物収入	2,000,000	1,636,200	2,000,000	0	2,000,000
その他収入	305,000	57,006	305,000	0	305,000
未収会費(放棄)	0	30,000	0	0	0
雑収入	300,000	22,515	300,000	0	300,000
受取利息	5,000	4,491	5,000	0	5,000
経常収益計	45,080,000	33,003,340	38,460,000	△ 1,350,000	37,110,000
(2) 経常費用					
事業費	32,539,535	15,769,125	23,366,529	△ 1,350,000	22,016,529
通常総会費	470,000	282,915	300,000	0	300,000
年次大会	12,000,000	3,950,374	4,000,000	0	4,000,000
IVRC	6,720,000	3,115,501	4,597,232	0	4,597,232
研究委員会活動費	3,780,029	1,216,818	1,790,337	△ 200,000	1,590,337
支払負担金	12,000	0	0	0	0
講習会費	2,270,506	0	4,094,460	0	4,094,460
研究部会費	0	0	1,150,000	△ 1,150,000	0
出版事業費	6,577,000	6,462,822	6,684,500	0	6,684,500
学会誌	4,248,500	3,792,685	4,008,500	0	4,008,500
会議費	8,500	0	0	0	0
通信運搬費	240,000	773,695	800,000	0	800,000
印刷製本費	3,100,000	1,966,800	2,000,000	0	2,000,000
諸謝金	250,000	323,000	380,000	0	380,000
委託費	650,000	729,190	828,500	0	828,500
論文誌	1,390,500	1,612,148	1,666,000	0	1,666,000
会議費	18,000	0	0	0	0
通信運搬費	2,500	4,032	3,000	0	3,000
印刷製本費	320,000	3,667	3,000	0	3,000
委託費	1,050,000	1,604,449	1,660,000	0	1,660,000
その他刊行物	938,000	1,057,989	1,010,000	0	1,010,000
通信運搬費	8,000	0	10,000	0	10,000
印刷製本費	870,000	1,057,989	1,000,000	0	1,000,000
委託費	60,000	0	0	0	0
扱与費	700,000	740,695	750,000	0	750,000
管理費	10,287,000	10,999,044	8,398,000	0	8,398,000
印刷費	100,000	6,235	8,000	0	8,000
消耗品費	100,000	51,810	70,000	0	70,000
諸会費	90,000	50,000	50,000	0	50,000
通信運搬費	250,000	273,758	300,000	0	300,000
情報システム管理費	1,150,000	1,047,802	750,000	0	750,000
電子広報費	170,000	185,000	170,000	0	170,000
会議費	350,000	193,900	200,000	0	200,000
光熱水料	27,000	24,912	0	0	0
賃借料	950,000	2,075,670	0	0	0
支払手数料費	400,000	265,303	300,000	0	300,000
租税公課	700,000	369,330	400,000	0	400,000
事務局運営費	6,000,000	6,475,324	6,150,000	0	6,150,000
その他雑費	880,500	1,300,000	1,300,000	0	1,300,000
経常費用計	43,707,035	28,068,169	33,064,529	△ 1,350,000	31,714,529
評価損益等調整前当期経常増減額	1,372,965	4,935,171	5,395,471	0	5,395,471
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	1,372,965	4,935,171	5,395,471	0	5,395,471
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
法人税、住民税及び事業税	570,000	558,500	558,500	0	558,500
経常外費用計	570,000	558,500	558,500	0	558,500
当期経常外増減額	△ 570,000	△ 558,500	△ 558,500	0	△ 558,500
当期一般正味財産増減額	802,965	4,376,671	4,836,971	0	4,836,971
一般正味財産期首残高	103,298,756	103,298,756	107,677,427	0	107,677,427
一般正味財産期末残高	104,101,721	107,677,427	112,516,398	0	112,516,398
III 正味財産期末残高	104,101,721	107,677,427	112,516,398	0	112,516,398

第6号議案

2021年度 理事および監事の選出

本会定款第13条に従って、2021理事および監事の選出を行います。

役員候補者選出選挙で選出された理事および監事の候補者は以下の通りです。

■ 会長		
任期1年（非改選 任期2022年3月まで）		
大須賀美恵子	大阪工業大学	1957年兵庫県生まれ。1979年東京大学工学部計数工学科卒業、同年、三菱電機株式会社入社。中央研究所、先端技術総合研究所にて生理心理学分野の研究、バーチャルリアリティ応用を含むウェルネスシステム開発に従事。1994年博士(工学)。2002年大阪工業大学情報科学部情報メディア学科教授、2006年同大学工学部生体医工学科教授、2010年同大学工学部ロボット工学科教授、2017年～2021年3月同大学ロボティクス&デザイン工学部学部長・ロボット工学科教授。2021年4月同学同学部・システムデザイン工学科特任教授、2002～2005年本学会理事。2018年～本学会副会長、ヒューマンインタフェース学会会長、日本生体医工学会理事、日本人間工学会理事などを歴任。
■ 副会長		
任期1年（非改選 任期2022年3月まで）		
相澤 清晴	東京大学	1983年東京大学工学部電子工学科卒業。1988年大学院博士課程修了。工博。東京大学助手、講師、助教授を経て、2001年より教授。現在、大学院情報理工学系研究科電子情報学専攻 教授。この間、1990年から2年間米国イリノイ大学客員助教授。画像・メディア処理に関する研究に従事。電子情報通信学会より、88年学術奨励賞、90年 論文賞及び米澤ファウンダーズメダル、92年 業績賞、98年 論文賞、99年 エレクトロニクスソサイエティ賞を受賞。2002年日本IBM科学賞受賞。IEEE Trans. Image Processing, Trans. Multimedia, Trans. CSVTのAssociate Editor, 電子情報通信学会情報システムソサイエティ会長、映像情報メディア学会会長を務めた。現在、IEEE MultiMedia, ACM TOMM等 Editorial Board, ACM SIGMM Executive Comm. Memberを務める。ACM Multimedia2012, ACM ICMR2018 General Co-Chairをはじめとして多数の国際会議等へ貢献。IEEE / IEICE / ITE Fellow, 日本学術会議会員。
任期2年（改選 任期2023年3月まで）*再任		
小木 哲朗	慶應義塾大学	1960年神奈川県生まれ。1984年東京大学工学部機械工学科卒業、1986年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了、同年三菱総合研究所入社、1994年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、博士(工学)。1996年東京大学大学院工学系研究科助教授、1999年通信・放送機構MVLリサーチセンター研究員、2004年筑波大学大学院システム情報工学研究科准教授、2008年より慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授。ヒューマンインタフェース、バーチャルリアリティの研究、特に没入型ディスプレイ、高臨場感通信、VR/ARの各種アプリケーション開発に関する研究に従事
■ 理事		
任期1年（非改選 任期2022年3月まで）		
今村 伊知郎	ソリッドレイ研究所	1991年東京農工大学工学部電子情報工学科(旧応用物理科)卒、1994年同大学院工学研究科物理工学専攻博士課程後期中退、同年株式会社ソリッドレイ研究所入社、開発・サポート・営業支援などを経て、システム営業部に所属、専門部長。 【大会担当】
黒田 嘉宏	筑波大学	2000年京都大学総合人間学部基礎科学科卒業、2005年同大学大学院情報学研究所社会情報学専攻博士後期課程修了。同年、同大学医学研究科特任助手、2006年大阪大学大学院基礎工学研究科助手、2013年同大学サイバーメディアセンター准教授、2016年同大学大学院基礎工学研究科准教授、2019年筑波大学システム情報学教授、現在に至る。博士(情報学)。物理モデルに基づく非拘束インタラクション技術、生体物理シミュレーション、医用システムに関する研究に従事。2006年～2010年本学会ニューズレター編集委員会ならびに学会誌委員会 委員、2012年～2018年本学会論文委員会 委員、2018年～2020年本学会ハプティクス研究委員会 委員長。【研究運営委員会担当】
佐藤 克成	奈良女子大学	2006年東北大学工学部電気・電子・応物・情報学科卒業。2011年東京大学情報理工学系研究科システム情報学専攻博士課程修了、博士(情報理工学)。同年より日本学術振興会特別研究院(PD)として、慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント 研究科在籍。2013年より奈良女子大学生活環境学部講師、現在に至る。触感情報伝達のための計

		測・提示装置の開発, 温冷感の知覚メカニズムの解明および計測・提示 技術の応用などの研究に従事。【認定担当】
永谷 直久	京都産業大学	2005年電気通信大学電気通信学部知能機械工学科卒業。2011年電気通信大学大学院電気通信学研究科博士後期課程単位取得済み退学。2012年3月博士(工学)。日本学術振興会特別研究員(DC1)。2012年東北大学大学院情報科学研究科研究特任助教, 2013年八戸工業大学防災技術社会システム研究センター博士研究員, 2015年京都産業大学コンピュータ理工学部助教を経て, 2018年より京都産業大学情報理工学部准教授, 現在に至る。ヒトの感覚知覚特性を利用した感覚拡張インタフェースの研究に従事。2005年より日本バーチャルリアリティ学会に所属し, 2014-2018ニューズレター編集委員, 2017-VR技術者認定制度委員会委員, 2017-学会誌編集委員会委員を務める。【学会誌担当】
鳴海 拓志	東京大学	2006年東京大学工学部システム創成学科卒業。2008年東京大学大学院学際情報学府修了。2011年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。東京大学大学院情報理工学系研究科知能機械情報学専攻助教, 講師を経て, 2019年より准教授, 現在に至る。博士(工学)。クロスモーダルインタフェース, ゴーストエンジニアリング等の研究に取り組む。本学会では, ニューズレター編集委員会 委員(2011~2013)および幹事(2014~2017), 論文委員会 幹事(2016~), デジタルミュージアム研究委員会 幹事(2011~), 情報技術と文化の融合研究委員会 幹事(2017~), 複合現実感研究委員会 委員(2013~), VR文化フォーラム運営委員会 委員(2014~), ASIAGRAPH運営委員会 委員(2014~), 大会プログラム委員(2011, 2018), 企画委員(2013), 広報担当(2020), 幹事(2014, 2019), 幹事(総務兼任)(2015)を務める。【論文誌担当】
野嶋 琢也	電気通信大学	1998年東京大学工学部計数工学科卒業。2003年同大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻博士課程修了。博士(工学)。2003年航空宇宙技術研究所研究員, 組織改編により現在の宇宙航空研究開発機構研究員を経て, 2008年より電気通信大学大学院情報システム学研究科准教授。2016年より同大情報理工学研究科准教授。現在に至る。2008年よりVR学会企画委員, 2014年より同論文委員。触覚インタフェース, オープンテッドスポーツ, エンタテインメント等の研究に従事。2016年より超人スポーツ研究委員会幹事を務める。2015年度~2018年度理事(企画・認定担当。2017年度10月より総務担当兼任)2020年度より総務担当理事【総務担当】
長谷川 晶一	東京工業大学	1997年東京工業大学工学部電気電子工学科卒業。1999年同大学大学院知能システム科学専攻修士終了。同年ソニー株式会社入社。2000年東京工業大学精密工学研究所助手。2006年9月博士(工学)。2007年電気通信大学知能機械科准教授。2010年東京工業大学精密工学研究所准教授, 未来産業技術研究所に改組, 現在に至る。力触覚, 物理シミュレーション, バーチャルヒューマン, ヒューマンインタフェースロボットの研究に従事。2011-14, 2018-20 本会理事【総務・IVRC・情報システム担当】
柳田 康幸	名城大学	1988年東京大学工学部計数工学科卒業, 1990年同大学院工学系研究科計数工学専攻修士課程修了, 同年東京大学助手。2001年(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 研究員, 2003年同主任研究員。2005年名城大学理工学部情報工学科教授, 現在に至る。博士(工学)。本学会2006~2009, 2012~2015年度理事(広報・出版/総務担当), 第1, 2, 7, 9, 18, 19 回大会実行委員, 1996~2001年ニューズレター編集委員, 2003~2006年同幹事(現顧問), 2008年~2016年企画委員, 2006年よりIVRC運営委員, 2007年よりICAT運営委員, 2013年より論文委員, 2010, 2011, 2016, 2017年度評議員, 2011~2013年香り・味と生体情報研究委員会副委員長, 2014年~2019年同委員長などを務める。テレグジスタンス, 触覚・嗅覚を含む感覚ディスプレイ技術などの教育研究に従事。【論文誌担当】
任期2年 (改選 任期2023年3月まで)※再任		
黒田 晴彦	デル・テクノロジーズ	1980年東北大学電気工学科卒, 同年三井物産株式会社入社。1998年欧州三井物産システム課General Manager, 2003年三井物産経営改革推進部IT戦略企画室長, 2009年IT推進部副部長。Chief IT Architectとして三井物産におけるグローバルシステム全体像のグランドデザイン(IT-Landscape)設計と構築を担当。2016年デル株式会社最高技術責任者に就任, 2020年よりデル・テクノロジーズ株式会社最高技術責任者, 提供する技術及びエンド・ツー・エンドソリューションの展開を統括, 日本市場におけるVRの普及・拡大等の活動を推進中。【認定担当】
苗村 健	東京大学	1992年東京大学工学部電子工学科卒。1997年同工学系研究科電子工学専攻博士課程修了。博士(工学)。米国スタンフォード大学客員助教授(日本学術振興会海外特別研究員)を経て, 2002年東京大学大学院情報学環助教授, 2013年同教授, 現在に至る。現実拡張・対話設計・機械学習などの研究に従事。2013年, 日本科学未来館において「現実拡張工房」と題した常設展を実施。文部科学大臣表彰若手科学者賞, 日本バーチャル

		アリティ学会論文賞, ヒューマンインタフェース学会論文賞, 映像情報メディア学会丹羽高柳賞論文賞, 電子情報通信学会HCG賞, 経産省Innovative Technologies, グッドデザイン賞など受賞多数. 本学会では, 2019年第24回大会長, 2011年第16回大会プログラム委員長, 2006-2011 アート&エンタテインメント研究委員会委員長, 2008-2012 論文委員会委員などを歴任. 【文化芸術・大会担当】
野間 春生	立命館大学	1989年筑波大学第三学群基礎工学類卒業, 1994年筑波大学博士課程工学研究科修了. 同年株式会社国際電気通信基礎技術研究所入所, 2013年から立命館大学 情報理工学部 教授. 専門はバーチャルリアリティ, 特にハプティックインタフェース, さらには, ユビキタスコンピューティング, ウェアラブルセンサ, センサーネットワーク等の研究にも従事. 博士(工学). 日本バーチャルリアリティ学会, 計測自動制御学会, 電子情報通信学会, 日本ロボット学会, IEEE, ACM 各会員. 本学会では初期のニューズレター委員, 学会誌委員, 論文誌委員などを過去に歴任. 【研究運営委員会・大会担当】
任期2年 (任期2023年3月まで) * 新任		
稲見 昌彦	東京大学	1994年東京工業大学生命理工学部生物工学科卒業. 1996年同大学大学院生命理工学研究科修士課程修了. 1999年東京大学大学院工学研究科博士課程修了. 博士(工学). 同年東京大学リサーチ・アソシエイト, 2001年同大学助手, 2003年電気通信大学知能機械工学科講師, 2005年同大学助教授, 2006年同大学教授. JSTさきがけ研究者, MITコンピュータ科学・人工知能研究所客員科学者を経て, 2008年慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授. 2015年11月東京大学大学院情報理工学系研究科教授, 2016年4月より同大学先端科学技術研究センター教授, 現在に至る. 同大学総長補佐, VR教育研究センター応用展開部門長を兼任. JST ERATO稲見自在化身プロジェクト研究総括, IPA未踏PM, 日本学術会議連携会員. 1995年よりIVRC実行委員, 2020年実行委員長, 2004-2005年日本VR学会大会幹事, 2008-2011年同学会理事, SIGGRAPH2016 Etech Chair, ICAT-EGVE2019 General Chair等歴任. 【国際担当】
岩井 大輔	大阪大学	2003年, 大阪大学基礎工学部システム科学科卒業. 2005年, 同大学院基礎工学研究科博士前期課程修了. 2006~2008年日本学術振興会特別研究員. 2007年同大学院博士後期課程修了. 博士(工学). 2008年同大学院助教. 2011年同大学院講師. 2013年同大学院准教授. この間, 2007~2008年ドイツ・バウハウス大学客員研究員, 2011年スイス・ETH客員研究員. 複合現実感, 質感の科学の研究に従事. 【会計担当】
北崎 充晃	豊橋技術科学大学	1992年東京大学文学部心理学専修課程卒業, 1997年同大学院総合文化研究科広域科学専攻博士課程修了. 博士(学術). 1997-2000年同大学院人文社会系研究科助手, 2000年より豊橋技術科学大学工学部講師, 助教授, 准教授を経て, 現在は, 同大学大学院工学研究科情報・知能工学系教授. 2005年より日本心理学会専門別議員. 2014年より日本基礎心理学会理事. 2017年より日本視覚学会幹事. バーチャルリアリティと心理学の融合領域研究に従事. 【広報出版担当】
串山 久美子	東京都立大学	1982年武蔵野美術大学建築学科卒業, 1984年筑波大学大学院芸術研究科修了, メディア制作を業務とする株式会社グロースを起業, 1992年より武蔵野美術大学, 早稲田大学, 千葉大学非常勤講師, 2005年JSTさきがけ研究員, 東京農工大学客員教授を経て2006年より首都大学東京システムデザイン研究科教授に就任. 博士(デザイン学)情報処理学会DCON編集委員. 専門はインタラクティブアート&デザイン, バーチャルリアリティ, 触覚ディスプレイの開発と研究. 1981年よりメディアアート作品発表, 2000年よりSIGGRAPH Art Gallery, Emerging Technology やArs Electronicaなどに数多く出展. 【文化芸術担当】
小泉 直也	電気通信大学	2012年慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科後期博士課程修了. 博士(メディアデザイン学). 日本学術振興会特別研究員PD, 東京大学情報学環研究員を経て, 現在, 電気通信大学情報理工学研究科助教. 知覚作用インタフェース, 空中像光学系やクロミック作用を利用したディスプレイの研究に従事. 【学会誌担当】
半田 拓也	NHK 放送技術研究所	2001年, 電気通信大学大学院電子工学専攻修了. 同年, NHK 入局. 岡山放送局を経て, 2005年より, 放送技術研究所においてユニバーサルサービス, 触覚インタフェース, AR/VRなどの研究に従事. 現在, NHK放送技術研究所空間表現メディア研究部上級研究員. 同学会ハプティクス研究委員会委員. 2020年, 東京大学大学院新領域創成科学研究科複雑理工学専攻修了. 博士(科学). 【ニューズレター担当】
■ 監事		
任期1年 (非改選 任期2022年3月まで)		
榎並 和雅	東京工業大学	1971年東京工業大学卒, 同年NHK入局, 同放送技術研究所にて番組制作技術などの研究推進, 02年NHK総合企画室[デジタル放送推進]担当局長, 04年NHK放送技術研究所所長. 06年から情報通信研究機構に移り, 同ユニバーサルメディア研究センター長, 08

		年同けいはんな研究所長, 10年同理事, 13年同脳情報通信融合研究センター副センター長, 14年東京工業大学監事(常勤), 20年同学長相談役現職. 博士(工学). 超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム会長代理, 映像情報メディア学会元副会長・現名誉会員, IEEEフェロー. 市村学術賞, 放送文化基金賞, 映像情報メディア学会論文賞, 前島賞 受賞. 2014-15年本学会会長. 19-現在本学会監事, 20年本学会フェロー
任期2年 (改選 任期2023年3月まで) *再任		
石橋 聡	NTT テクノクロス	1982年 徳島大学大学院工学研究科(情報工学専攻)を修了. 同年日本電信電話公社(現NTT)入社. 以来研究所を中心に, 画像処理・映像符号化技術開発および画像通信サービス開発に従事. 1988年ATR通信システム研究所. 2008年よりNTTサイバースペース研究所長. 2010年 NTTアイティ(株) 取締役を経て, 現在, NTTテクノクロス(株) 技師長. 2013-16年 本学会副会長. 2017年 画像電子学会会長. 主な著書(共著)『デジタル・ビジュアル通信技術』, 『デジタル情報表現の基礎—音声・画像の符号表現』. 1992年 映像情報メディア学会鈴木記念賞受賞. 2015年 画像電子学会フェロー. 工学博士.

2021年3月をもって退任する理事は以下の6名です

雨宮 智浩・伊藤 雄一・大谷 智子・梶本 裕之・清川 清・森山 朋絵

第7号議案 定款の変更

以下のように定款を変更致します. 第1の変更は, 会長選任の決定を総会で行うことを定款で明記するものです. 第2の変更は, 事務局長に関する記載を省くものです.

変更点: 下線部分の追記, ならびに取り消し線部分の削除

(選任等)

第14条 会長, 理事及び監事は, 総会において正会員の中から選任する.

(総会の権能)

第23条 総会は, 以下の事項について議決する.

(6) 会長, 理事及び監事役員の選任, 職務

(事務局の設置)

第57条 この法人に, この法人の事務を処理するため, 事務局を設置する.

2 事務局には, ~~事務局長及び~~必要な職員を置く.

(職員の任免)

第58条 ~~事務局長及び~~職員の任免は, 会長が行う.

以上